

第87回イタリア 12FT.ディンギー チャンピオンシップ 参戦記

2022.8.31-9.03
イタリア ラベンナヨットハーバー





Ravennaはミラノから列車で2時間アドリア海に面した夏の保養所です。
 Ravenna市街とアドリア海との間は8 Km運河でつながっていて、
 その運河に大型船が行きかう様子は壮観です。（下記写真参照）
 さて、4年ぶりの参戦となりましたが、
 不覚にも既に空路イタリアに着くまでに体力、気力を消耗してしまいました。
 ロシアの上を飛ばない飛行時間の長さは想像を超えるものでした。
 イタリアのセーラーは11歳くらいからセーリングに親しんでいるので
 高校から始めた初老は、ただただ完走するのみでした。

三田A級ディンギー 世話役 小森洋一





総勢70艇のディンギーがイタリア全国より集結いたしました。今まではイタリアンカップということで外国艇の参加は認められておりませんでした。左の写真の上部に見えるマストが、クルーザーやモーターボートのハーバーになっており、今まで観たことの無い巨大なハーバーのため、レース海面に辿りつくのに1時間かかることにも閉口いたしました。右の写真は、狭いスロープを一艇ごと降ろして行きます。



3日間のレースでしたが初日は雷雨のため中止。2日目は微風3日目は順風強で6レース行われました。ご覧ください。70艇のスタートなかなかのものですが、やはり風下風上で接触はありましたね。裸でも参加もOKなんですね？



こちら日本勢、他の船はシングルでしたが日本勢は菅沼、小森の2人乗りでレースを楽しみました。47年卒の仲間も応援に来てくれて助かりました。今後はシングルで挑戦すべきだと、痛感いたしました。



レース前の集合写真です。50歳代から60歳代の参加者が多く見受けられました
中には80歳代の方もおられたとか。女性も2名参加。皆さん小さな頃よりセーリングに親しみ
40歳代より12Ft.デインギーに移行して人生楽しんでおられるようでした。日本もこうありがたいですね。



イタリアなレセプション食事風景



美味しそうな小皿でもコロナを警戒してレセプション食事は不参加に



優勝者Giovanniさんと記念撮影



87^Campionato Italiano Dinghy 12'

参加費は120ユーロ、艇は無償で借りました。上記レセプションのほかに2日目の20時30分よりレストランを借りてパーティも行ったようです。運営経費に関して左に列記されているスポンサーのサポートあったのか、後ほど聞いてみようと思いました。

三田A級ディングー世話役
小森洋一



クラブ旗をいただき、お礼のスピーチ

今年もお世話になったFrancescaさんと

運営委員の皆さんにJADAのキャップをプレゼント

